

手術室の 窓 プロジェクト

「これから手術室に向かう患者さんと
そのご家族の心が、少しでも軽くなりますように。」
院長はじめ、医師も看護師も…
同じ想いをこの壁画に込めました。



いつからか、古代壁画のような絵を描きたい、と思っていました。
この度、最先端の医療現場で、それも自分が生まれた土地でその一歩
が叶えられたのは、不思議な布石に導かれたようです。

絵描きにとって白は自由の空間ですが、手術室エリアでは時に緊張や
不安を与える色ともなります。この「手術室の窓プロジェクト」では、現
場の医師や看護師からのご要望を参考に、私の好きなモチーフ（主題）
である「窓」のスケッチを重ね、下絵を作成しました。
オリーブやミカンのある風景では描いた空に窓を掛け、また、白い壁
には窓を開け空や讃岐の野山を描きました。そして天井にもこの近くの山
から見た讃岐富士のある天窓を。

現場では、初めての画材、壁材に戸惑ったり、助けられたり・・・
場所柄もあって限られた中での制作です。時間はもう少し欲しいところだ
りましたが、皆様に喜んでいただけたら何よりの幸せです。感謝

2014/3月 島田玲子



四国子どもとおとなの
医療センター

製作期間 3月20日～30日

協力 アシスタント 米須 南美 / 高松市立美術館ボランティア 17名 / 病院スタッフ 33名